

教育学教育のあり方と 教職課程カリキュラムの再検討 —教育学分野の参照基準の作成に向けて—

報告：「教育学分野の参照基準の全体構想」

松下佳代（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）

「教職課程コアカリキュラムの課題」

油布佐和子（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

「教育学分野の参照基準の活用法」

深堀聰子（九州大学教育改革推進本部教授）

司会： 吉田文（早稲田大学教育・総合科学学術院教授、大学総合研究センター副所長）

2019年 3月16日（土）14:30～17:00

会場：学習院大学 南3号館301教室

※どなたでも自由に参加できます。

日本学術会議では、2008年以来、大学教育の分野別質保証について議論を重ねており、現在までに「分野別の教育課程編成上の参照基準」が31分野で作成・公表されています。しかし、教育学分野は、いまだ公表にいたっていない、残された数少ない分野の一つとなっています。一方で、教員養成についてはすでに文部科学省によって「教職課程コアカリキュラム」が作成・運用されています。

そのような状況のなかで、2017年12月、日本学術会議内に「教育学分野の参照基準検討分科会」が設置され、このたび第一次案を公開できる運びとなりました。

本シンポジウムは、この第一次案を議論の俎上にのせ、意見交換を行うことを目的とするものです。あわせて、参照基準との関連において、教職課程コアカリキュラムの課題についても議論を行います。教育学や教員養成に関心のあるみなさま、どうか奮ってご参加ください。